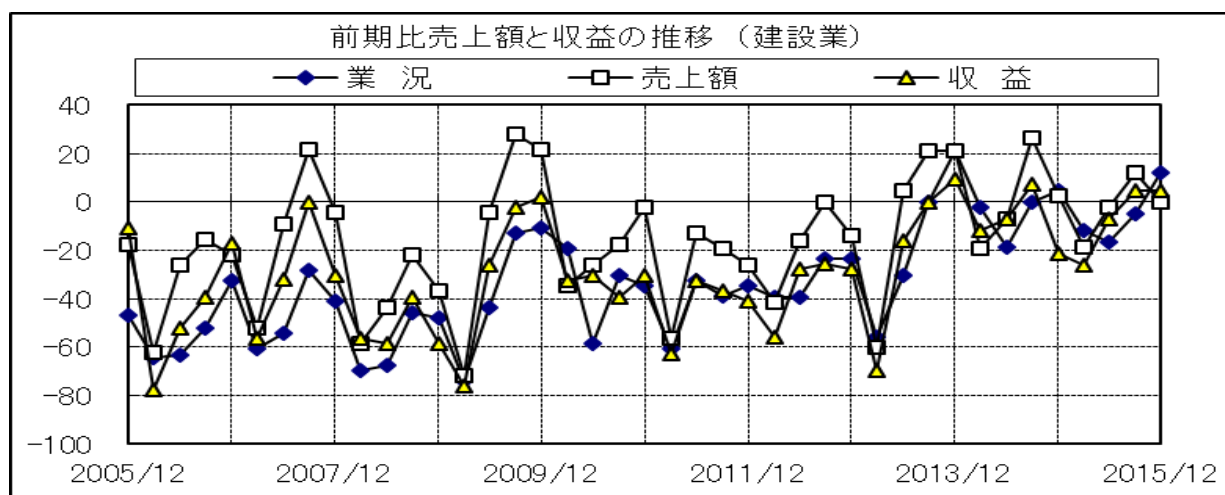


建設業 42 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業 況	-16.6	-4.8	11.9	-31.0
売上額	-2.3	12.0	0.0	-26.2
収 益	-7.1	4.8	4.8	-30.9

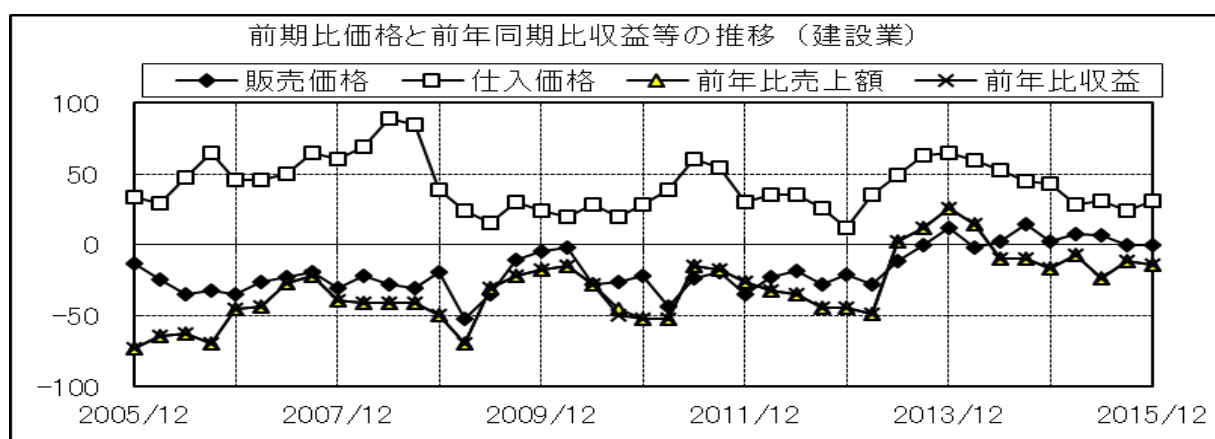
今期の業況判断 D. I. は 11.9 と、前期比 16.7 ポイント上昇し、プラス値へと改善した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりも・広尾が同水準、次に静内、様似、と続き、浦河、三石が低水準となった。前年（4.8）比でも、7.1 ポイントの上昇となった。売上額判断 D. I. はゼロ水準で、前期比 12.0 ポイント下降した。収益判断 D. I. は 4.8 と、前期同様の水準となった。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
請負価格	7.1	-0.1	0.0	-30.9
仕入価格	31.0	23.8	31.0	14.3

請負価格判断 D. I. はゼロ水準で、前期同様の水準。仕入価格判断 D. I. は 31.0 と、前期比 7.2 ポイントの上昇となった。前年比では請負価格（前年 2.4）は 2.4 ポイント下降、仕入価格（同 42.9）は 11.9 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-14.3	-2.4	2.4	-23.8
人手状況	-2.4	-14.3	-23.8	-11.9

残業時間判断 D. I. は 2.4 と前期比 4.8 ポイント上昇し、プラス値に転換した。残業時間が増加したとする企業割合は増加した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 23.8$ と、前期比 9.5 ポイント減少幅が拡大し、人手不足感が一段と強まった。

□ 設備投資の動き

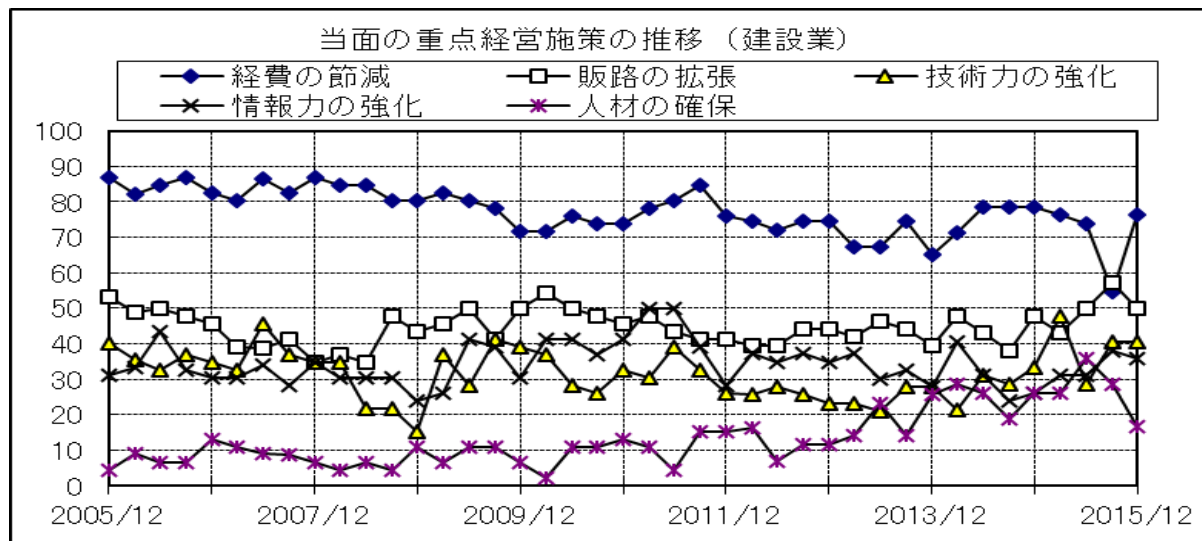
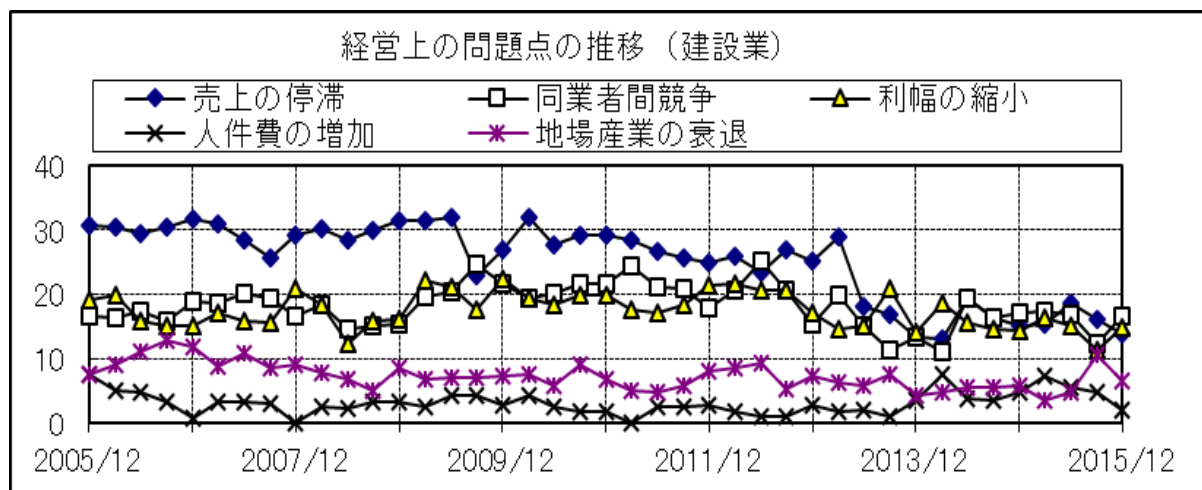
設備投資の充足感を示すD. I. は△7.1 で、前期比 4.8 ポイント上昇し改善した。

設備投資実施企業割合は21.4%と、前期比2.4ポイント下降、設備投資は前期10社に対し、9社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競合」16.7%、「利幅の縮小」14.8%、「売上停滞減少」・「大手企業との競合」が同率の13.9%、「下請けの確保難」が8.3%と続いている。

重点経営施策では、「経費を削減する」76.2%がトップで、「販路を広げる」50.0%、「技術力を高める」40.5%、「情報力を強化する」35.7%、「人材の確保」16.7%と続いている。



来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△31.0 と、今期比 42.9 ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△26.2 と、今期比 26.2 ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△30.9 と、今期比 35.7 ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は△30.9 と、今期比 30.9 ポイントの下降を見通している。

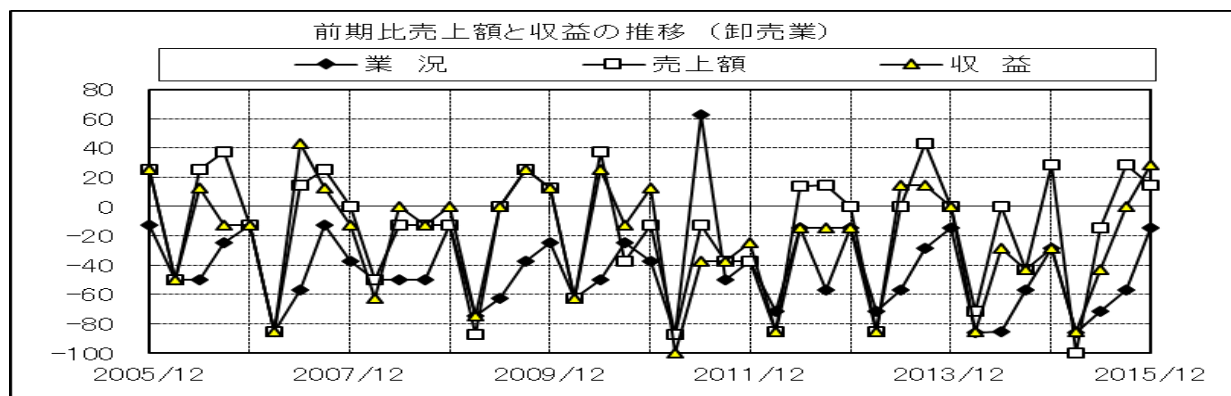
予想仕入価格判断D. I. は14.3 と、今期比 16.7 ポイントの下降を見通している。

卸売業 7 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業 況	-71.5	-57.2	-14.3	-42.9
売上額	-14.3	28.5	14.3	-85.7
収 益	-42.9	0.0	28.6	-71.5

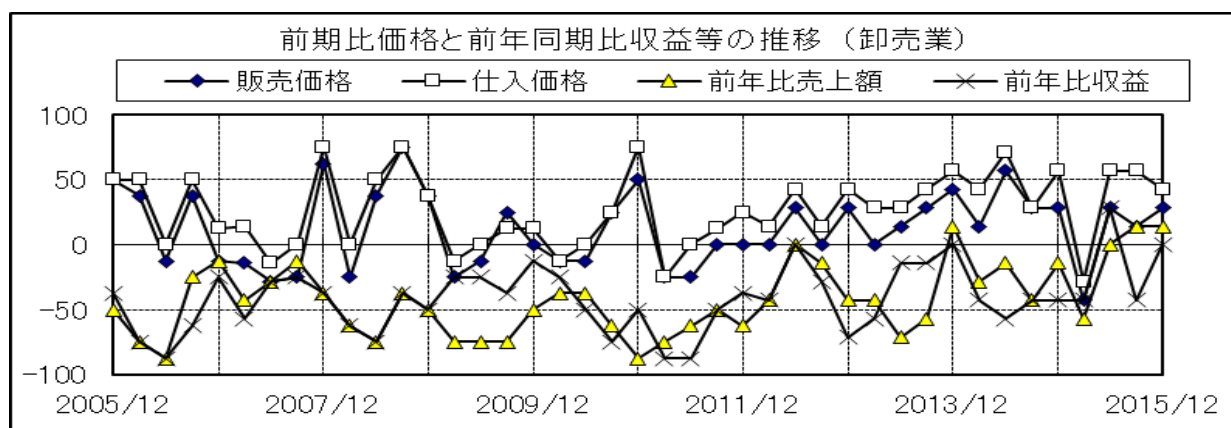
今期の業況判断 D. I. は△14.3 と、前期比 42.9 ポイント上昇で、悪化幅が大幅に縮小した。地区別の水準は、様似・静内地区は改善、浦河地区は横ばいとなった。業況は、前年（△28.6）比 14.3 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. は 14.3 と、前期比 14.2 ポイント下降。収益判断 D. I. は、同比 28.6 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	28.6	14.3	28.6	-42.9
仕入価格	57.1	57.1	42.9	-28.6

販売価格判断 D. I. は 28.6 と、前期比 14.3 ポイント上昇した。仕入価格判 D. I. は 42.9 と、前期比 14.2 ポイント下降した。業種別にみると、水産は、販売価格・仕入価格ともに上昇となった。食品は販売価格は横這い、仕入価格は上昇幅が縮小した。前年比では、販売価格（前年 28.6）は横這い、仕入価格（同 57.2）は 14.3 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-28.6	-14.3	42.9	-42.9
人手状況	0.0	-14.3	-57.1	0.0

残業時間判断 D. I. は 42.9 と前期比 57.2 ポイント上昇しプラス値へ転換、残業時間増加割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は 57.1 と前期比 42.8 ポイント下降、人手不足感が大幅に強まった。

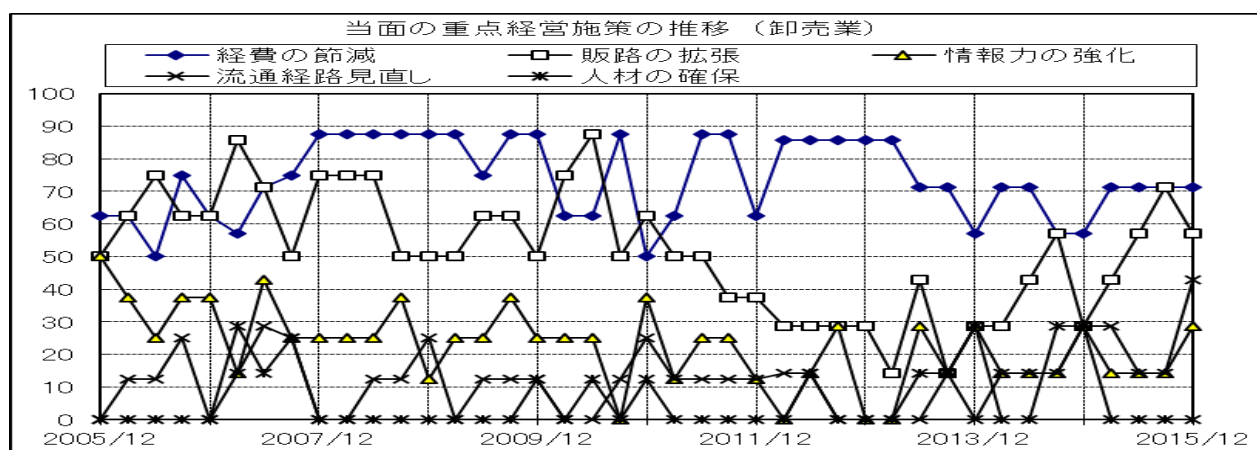
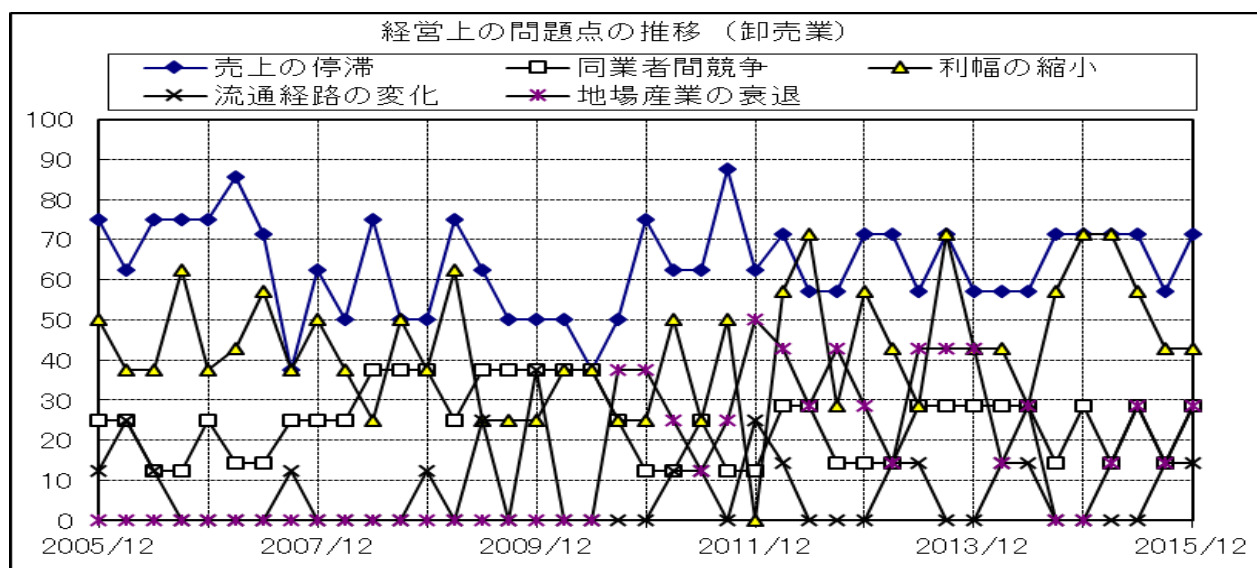
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. はゼロ水準で、前期比 14.3 ポイントの下降。設備実施企業割合は 28.6%と前期 0 社に対し 2 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 0 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」71.4%、「利幅の縮小」42.9%、「同業者との競争」・「店舗の老朽化」・「地場産業の衰退」が同率の 28.6%で続いた。

重点経営施策では、「経費を節減する」71.4%、「販路を広げる」57.1%、「流通経路を見直す」42.9%、「情報力を強化する」28.6%、「新事業を始める」・「提携先を見つける」・「品揃えを充実する」が同率の 14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△42.9 で、今期比 28.6 ポイントの下降を見通している。
 予想売上額判断 D. I. は△85.7 で、今期比 100 ポイントの大幅な下降を見通している。
 予想収益判断 D. I. は△71.5 で、今期比 100.1 ポイントの大幅な下降を見通している。
 予想販売価格判断 D. I. は△42.9 で今期比 71.5 ポイントの大幅な下降を見通している。
 予想仕入価格判断 D. I. は△28.6 で今期比 71.5 ポイントの大幅な下降を見通している。